

「住みたいまち」「住み続けたいまち」の実現に向けて、さまざまな施策を実行中の品川区。20年近く居住者の人口が増え続けるなど好調だが、区では何を重視し、今後どんなまちをつくりあげようと考えているのか。現状とビジョンについて、濱野健区長にうかがった。

撮影場所:info & cafe SQUARE(品川区荏原4-5-28 TEL-03-3783-7200)
2018年11月にオープンした観光案内も行うコミュニティ型カフェ。

はまの たけし
品川区 濱野 健 区長

「輝く笑顔 住み続けたいまち しながわ」を目指して。



しながわネウボラネットワーク

——品川区の人口は平成10年以降、増加傾向にあるそうですね。その理由はどこにあるとお考えですか？

主な要因としては、子育て世帯や若年の単身世帯の転入が考えられます。交通の利便性、活気のある商店街など品川区の魅力はたくさんありますが、子育て教育施策をはじめとした住み続けたいまちづくりも着実に進めてきました。品川区が地道に取り組んできたことが皆さんから評価をいただいているということであり、大変うれしく思います。

——定住促進に向けて、誰にもやさしく住みやすいまちづくりを常に議論されているかと思えます。その具体的な取り組みについて教えてください。

子どもを安心して産み育てるためには、健康、生活、育児などの多様な相談や支援が欠かせません。品川区では、「しながわネウボラネットワーク」という取り組みを進めています。「ネウボラ」とは、フィンランド語でアドバイス(ネウボ)の場(ラ)という意味で、子どもを安心して産み育てるためのサポートを行う仕組みです。妊娠届出後から就学前まで、



ALT(外国人英語講師)による1年生の「英語科」

各関係機関が連携しながら、相談やサポートを行っています。今年6月に区と包括協定を締結した東京医療保健大学(東五反田4-1-17)さんにもご協力いただいている取り組みです。

平成18年度には、全国に先駆けて「小中一貫教育」を導入し、全ての区立学校で9年間の一貫した教育を実施しています。平成27年には、国が追随する形で学校教育法の一部が改正され、施設一体型小中一貫校を「義務教育学校」として新たに設置しました。現在、区内には6校の義務教育学校があります。また、義務教育学校に限らず、区立小・中学校も含め、1年生からの「英語科」、特別教科である「市民科」など、品川区独自のカリキュラムを取り入れた、9年間の一貫した教育を実施しています。

——高齢者の方々向けの支援にも積極的です。

はい。品川区では、誰もが安心して住み続けることができる地域社会を実現するために、町会・自治会、民生委員など地域で活動する皆さんや、民間事業者の協力を得て、見守り活動にも力を入れています。ひとり暮らし高齢者の方などに対し



戸越銀座商店街のにぎわい

では、日常生活の些細なことでもご相談していただけるような身近な福祉の相談窓口として「支え愛・ほっとステーション」を計13カ所の地域センターに設置しています。2人のコーディネーターが常駐し、高齢者の方からのご相談に応じています。

——品川区は歴史が息づくまちですが、歴史や偉人という視点で見た魅力は何ですか。

今年、明治維新150年という節目の年でしたが、幕末や明治に活躍された方々にゆかりの場所が多いのも品川区の見どころです。

現在の京急立会川駅の近くに土佐藩下屋敷がありました。ペリー来航時に坂本龍馬が江戸警固のため臨時招集され、土佐藩下屋敷にて守備についたとされています。駅前には、20歳頃の坂本龍馬像が建てられ、近くの新浜川公園(東大井2-26-18)には、当時の砲台が復元されています。そのほか、板垣退助、山内容堂といった偉人たちのお墓が区内にたくさんあります。幕末や明治の日本に思いをはせながら、お墓をめぐるのもおススメです。



立会川の坂本龍馬像(区立北浜川児童遊園内)

——区長から見た、品川区の魅力をお教えください。

交通が非常に便利である点ですね。羽田空港や2027年にリニア中央新幹線が開通する予定の品川駅にもアクセスしやすい。また、商店街も元気でとても活気があります。たくさんの方にお買い物に来ていただきたいです。

——今後のビジョンをお教えてください。

区内にも競技会場がある東京2020大会の開催を好機ととらえ、まちのにぎわいを充実させるとともに、夢の舞台の感動をわかちあえる品川区をめざします。この世界的な祭典を区をあげてお迎えすることにも、区民の皆さんと一体となって盛り上げていきます。

また、これを契機に、区の魅力を国内外に情報発信するシティプロモーション事業をさらに強力に推進していきたいと考えております。品川区は、地域の皆さんのさまざまな活動が活発なまちです。区民の皆さんと共に、「住むなら品川区」と言われるようなまちを目指し、区全体の発展へとつなげていきます。ぜひご注目ください。